

～歴史と自然が調和し温泉のある心のふるさと～ ようこそ 上深萩・大菅町 寄り道マップ

上深萩・大菅町

常陸太田市

上深萩・大菅町は、常陸太田市の中央部に位置し、棚倉街道（国道349号）の街道筋として、古来より人通りの多い土地です。それぞれ明治22年まで上深萩村・大菅村として独立した村でしたが、賀美村に合併後は大字となり、さらに平成16年常陸太田市との合併で町名となりました。

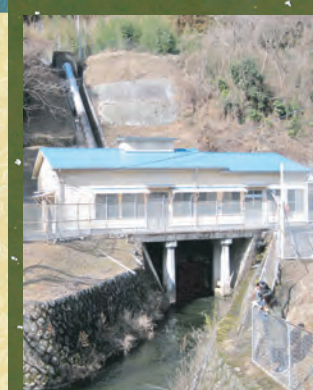
南北に流れる里川を挟んで東側が上深萩町、西側が大菅町となっており、上深萩町には、風光明媚な滝がいくつもあり、ハイキングコースになっています。高低差を利用した賀美発電所や、天然の軟水も湧き出て豊かな自然に恵まれております。

大菅町は、お茶の栽培が盛んで、歴史ある鉱泉宿があり、散策後の疲れを癒すこともできます。また伝統文化として「かな料紙」の製造も行われています。



高宮神社・駒形神社

坂上田村麻呂が蝦夷征伐の途中に創建したといわれております。境内社の駒形神社は古来より、馬霊、馬産の神として祀られ、紅白に飾りたてた馬をひいた参拝人で賑わっていました。



賀美発電所

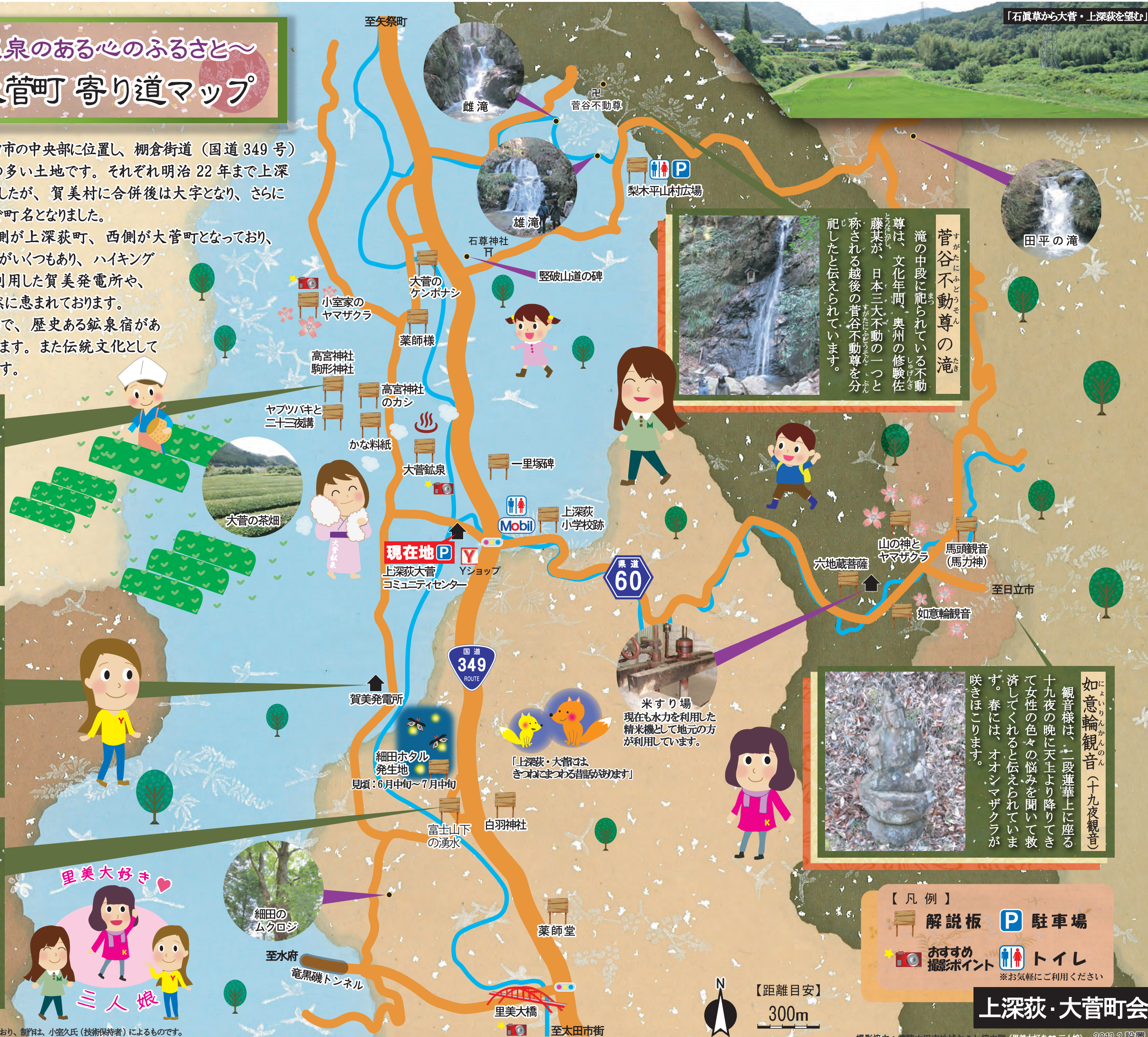
大正八年二月運用開始。国の登録有形文化財。久慈川水系里川の中流域に建設された河岸段丘を利用した水力発電施設で電機室には横軸水車と発電機を一組据えています。



富士山下の湧水

昔から愛宕神社境内地から湧き出ている天然の軟水です。とても清らかで、癖のないすっきりとした水でご飯を炊いたり、お茶やコーヒーを淹れるととても美味しいと言われています。

【デザインの説明】この看板の背景には「かな料紙（市指定無形文化財）」のデザインが使用されており、制作は、小室久氏（技術保持者）によるものです。



菅谷不動尊の滝
滝の中段に祀られている不動尊は、文化年間、奥州の修験佐藤某が、日本三大不動の一つと称される越後の菅谷不動尊を分祀したと伝えられています。

如意輪観音（十九夜観音）
観音様は、二段蓮華上に座る十九夜の晩に天上より降りてきて女性の色々の悩みを聞いて救済してくれると伝えられています。春には、オオシマザクラが咲きほこります。

【凡例】
解説板 P 駐車場
おすすめ撮影ポイント トイレ
※お気軽にご利用ください

上深萩・大菅町会

撮影協力：常陸太田市地域おこし協力隊（里美大好き♡三人娘） 2012.2 設置